

JAAF
CHIBA

千葉陸協だより



発行：千葉陸上競技協会総務委員会広報部 2018年8月11日発行

第12号

躍進する若い力を

専務理事 木内 俊秀

役員・理事はじめ関係者の皆様には、日頃より本協会の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

宇野裕会長の下、一般財団法人千葉陸上競技協会の発展を目指し会務の運営に尽力したいと思います。

4月の千葉県記録会兼国体第一次選考会から、本県でも本格的にトラック&フィールドのシーズンが始まり、5月に開催された県高校総体では、スプリント種目を中心に男子7種目女子7種目で大会新記録が生まれました。その勢いのまま6月の南関東大会では男子11種目女子6種目で優勝を飾りました。その結果、本県からは男女100余名が2018東海総体に出場し、伊勢の地で全国の強豪との熱戦が繰り広げられました。特に女子100mHの小林歩未（市立船橋高）は、向い風0.3mの中で13"34の全国高校新記録で見事に優勝を遂げました。8月11日には国体最終予選会が開催され出場選手の選考を行いました。高校生の若い力が本県の上位入賞につながってほしいと思います。

本年度千葉県では、7月6～7日に関東聾学校陸上競技大会が、また、8月8～9日には関東中学校陸上競技大会の2つの関東大会が開催されました。いずれの大会も、各都県の予選を勝ち抜いた精鋭による熱戦となり、各選手の健闘が光りました。本協会としても大会運営に携わることができ大変うれしく思います。参加された選手の皆様の今後のご活躍を期待しています。また、10月21日にはちばアクアラインマラソン2018が開催されます。東京湾を横断するアクアラインを走り抜けるこのマラソンは、ベイエリアの秋の風物詩となりました。本協会では昨年度からコース点検、審判編成等万全な大会運営に向け準備に取り組んでまいりました。作業等にご協力いただいた役員、関係者の皆様、ありがとうございました。第1回から毎回晴天に恵まれている本大会ですが、「海を走ろう～アクアラインの風に乗って～」のキャッチフレーズのもと、参加ランナーの皆様に楽しんでいただきたいと思います。

まもなく秋のシーズンを迎えます。国体、東日本女子駅伝、全国都道府県対抗駅伝と重要な競技会が続きますが、選手強化に励み上位入賞を目指すとともに、本県代表選手を応援してくださる皆様を含め陸上競技の普及発展に力を注いでまいりたいと思います。引き続き本協会の活動にご支援賜りますようお願いいたします。



陸上部紹介

「旭市立第二中学校」

旭市立第二中学校陸上競技部は、現在男女計 80 名で活動し、部員一人一人がそれぞれの目標に向けて日々努力しています。また、先輩の中には全国大会で優勝した選手もいて意欲的に活動しています。

2017 年度のシーズンでは、千葉県総合体育大会陸上競技の部で男子総合で準優勝をすることができ、千葉県新人陸上競技大会では男子総合で準優勝、女子総合で第 7 位、男女総合では悲願の優勝をすることができました。陸上競技は個人競技ではあるけれどチームとして強くなっていくと指導していますが、そのことを部員一人一人が意識し、その結果個人の競技力の向上、そして総合力の向上に繋がっています。

2018 年度のシーズンが始まり自己ベストの向上、支部大会での入賞や全国大会出場等それぞれがそれぞれの目標を達成できるよう毎日頑張っています。真摯に頑張っている人は多くの人から自然と応援されます。多くの方々から応援されるようなチームとなり、これからもがんばっていききたいと思います。

顧問 岡野 浩



「東海大学付属市原望洋高等学校」

東海大学付属市原望洋高等学校陸上競技部は、創部 32 年目を迎えました。インターハイには 25 回の出場、述べ 179 名が参加、各種目で優勝 4 回、入賞 2 7 回を果たしました。また、2006 年のインターハイでは男子総合優勝を経験することができました。また、女子駅伝では、3 度の関東高校駅伝に出場しています。現在、男女 69 名の部員で、「未見の力」（未だ見たことのない自分自身を信じよ）をモットーに、日々練習に取り組んでいます。短距離・長距離の垣根なく、顧問 3 名が指導にあたっています。部員個々の目標は、より高い競技会において活躍することですが、部活動を通して「競技者」として「人」としての成長を果たすための自己研鑽に努めています。

今年度 6 月には本校グラウンドの改修工事が始まり、秋にはオールウェザーグラウンドに生まれ変わります。

これをきっかけとして千葉県、そして全国の舞台で活躍できるように頑張ります。

顧問 磯 真吾

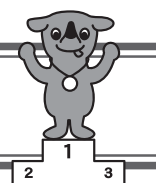


◇平成30年度競技会等日程

月	日	曜	競 技 会 名	場 所
8	11	土	国体最終選考会	総合スポーツセンター
	26	日	ジュニアオリンピック最終選考会	総合スポーツセンター
9	1	土	東日本女子駅伝選考会	総合スポーツセンター
10	13	土	2018秋季記録会	総合スポーツセンター
	14	日	ちばキッズ陸上競技大会	総合スポーツセンター
	21	日	2018ちばアクアラインマラソン	木更津
	27	土	県高校駅伝	東総
	28	日	県民体育大会	総合スポーツセンター
11	4	土	県中学駅伝	柏の葉
	24	土	都道府県駅伝選考会	総合スポーツセンター



駅伝結果



全国中学駅伝 (2017.12.17 滋賀)

- 男 子 我孫子市立白山中学校 優勝 57' 03"
(野島健太 (区間賞), 野島悠太, 山本樹, 齋藤英介, 加藤優門, 親里海輝)
- 女 子 我孫子市立白山中学校 6位 42' 17"
(和田水希, 日上あや, 稲垣小雪 (区間賞), 増田愛果, 荏原羽珠)

全国高校駅伝 (2017.12.24 京都)

- 男 子 市立船橋高校 16位 2° 07' 22"
(加藤蒼一郎, 安田優登, 佃康平, 川上勇士, 安田博登, 中島稜貴, 小野悠人)
- 女 子 日体大柏高校 29位 1° 12' 03"
(佐々木瑠衣, 大上純奈, 木口美樹, 佐々木芽衣, 池田瑞葵)

都道府県対抗駅伝 (男子 2018.1.21 広島 女子 2018.1.14 京都)

- 男 子 3位 2° 20' 34"
(飯田貴之 (八千代松陰高), 野島健太 (白山中), 松枝博輝 (富士通), 安田博登 (市立船橋高), 佐藤一世 (八千代松陰高), 鶴元太 (坪井中), 鈴木壘人 (青山学院大))
- 女 子 12位 2° 18' 57"
(加世田梨花 (名城大), 風間歩佳 (成田高), 南日向 (葛飾中), 佐々木瑠衣 (日体大柏高), 関谷夏希 (大東文化大), 内藤早紀子 (パナソニック), 大上純奈 (日体大柏高), 小坂井智絵 (御滝中), 松崎璃子 (積水化学))

第23回全国都道府県対抗 男子駅伝競走大会報告



駅伝部長 滝田輝行

千葉県PRマスコットキャラクター チーパくん
千葉県許諾第A287-12号

「天皇杯第23回全国男子駅伝」が2018年1月21日広島県平和記念公園前スタート・ゴールの7区間、48 kmのコースで行われました。

千葉県チームは、過去最高順位である5位以上を目指し、大会に臨みました。中学生は全中3000 m 2位の野島健太選手（白山中学）、社会人は日本選手権5000 m 1位の松枝博輝選手（富士通）、箱根駅伝1区5位の鈴木壘人選手（青山学院大学）と実績のある選手がそろい、大会前の予想では上位入賞が期待されていました。

レースは1区の飯田貴之選手（八千代松陰高校）が途中先頭でレースを引っ張る走りで好スタートを切り、トップから22秒差の13位で2区の野島選手へ。野島選手も5人を抜き8位で3区へ。3区の松枝選手も粘りの走りを見せ4位の好位置で4区・5区の高校生区間へと襷が渡りました。4区で一時10位まで落ちましたが、5区の佐藤一世選手（八千代松陰高校）が高校1年生と思えない快走で5位まで順位を押し上げ、最終7区へと繋ぎました。上位5チームが14秒差の優勝争いの中、鈴木壘人選手の冷静な走りで安定した力を見せ千葉県チームは史上初の3位という好成績を収めることができました。

この場をお借りしまして千葉陸上競技協会をはじめ関係各位に感謝を申し上げます。今後は今回の3位に満足することなく選手・スタッフ一同、頂点である「優勝」を目指したいと思います。



選手、監督、スタッフといつも熱心に応援していただいている千葉県人会広島の皆さん